

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

第46回放魚祭 宇多津町で開催

去る7月22日(水)午前10時より、県民に広く稚魚愛護と水産資源保護の普及高揚を図ることを目的とした、第46回放魚祭(主催:(一社)香川県水産振興協会、中讃地区漁業組合連合会、香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、(公財)香川県水産振興基金、協賛:香川県、宇多津町、坂出市、丸亀市、多度津町)が宇多津町のサン・アンジェリーナ及び宇多津町北浦漁港において開催され、浜田知事、高木県議会経済常任副委員長、谷川宇多津町長、綾坂出市長、梶丸亀市長、河西多度津副町長ほか水産関係者約100名が出席し、式典や稚魚の放流などが盛大に開催されました。

式典はサン・アンジェリーナで執り行われ、厳かな神事のあと主催者を代表して服部会長から、「稚魚愛護と水産資源保護の精神を、当地宇多津町から全国に発信するとともに、こうした積み重ねがより大きな輪となり、豊かな瀬戸内海を蘇らせることを願ってやみません。」と挨拶がありました。来賓の浜田知事からは「本日の放魚祭が、県民の皆様、水産資源の保護や瀬戸内海の大切さについて、あらためて考えていただく機会となりますことを心から願っています。」とのご祝辞をいただき、続いて香川県立多度津高校海洋生産科の生徒7名に放流稚魚のお手渡しが行われました。



挨拶する服部会長



児童たちと稚魚の放流

放流会場の宇多津町北浦漁港には大漁旗、国旗で色鮮やかに装飾された地元漁船11隻と多度津高校の実習船「たどつ」、県船「やくり」が集結し、会場内もたくさんの大漁旗で彩られました。稚魚の放流に先立ち、宇多津小学校及び宇多津北小学校の3年生約50名を対象に水産教室が実施され、児童たちは地元の魚や海について学習しました。また、水産教室の記念品として県産味付け海苔やイリコ、おさかなストラップをもらい、児童たちは大喜びでした。

その後、主催者、来賓および小学生が宇多津町議会大松議長の合図で稚魚の放流を行いました。この日放流された稚魚はベラ5万尾、マダイ・ヒラメ各1千尾及びタケノコメバル5百尾で、これからの豊漁を祈願して宇多津町の海に放流されました。放流終了後、中讃地区各漁協の漁船11隻が出席者に見送られながら順次出港。地元地先に帰り、稚魚の放流を行いました。また、放魚祭の一環として5月にヒラメ約1万尾、タケノコメバル約2万尾を事前放流しています。

地元宇多津町、坂出市、丸亀市、多度津町及び健全な種苗を提供していただいた香川県、そして漁業者の皆さん他、関係者各位の協力を得て放魚祭は盛況のうちに無事閉会しました。来年度第47回放魚祭は、三豊地区において開催予定です。



決定「香川おさかな大使」

香川県の水産物をPR活動する「香川おさかな大使」の最終審査会が7月8日(水)漁連会館5階中会議室にて行われました。

今年で7回目を迎える「香川おさかな大使」は、さぬき海の幸販売促進事業の一環として募集したもので、おさかな大使にはいずれも大学生の高島菜々美さん(23歳、多度津町)、福家沙也加さん(20歳、高松市)、杉本恭子さん(20歳、岡山県倉敷市)の3名が選ばれました。活動期間は7月8日から来年3月までとなっています。

「香川おさかな大使」選定審査会



左から高島菜々美さん、福家沙也加さん、杉本恭子さん

「香川おさかな大使」には県内から14名の応募があり、書類審査を通過した9名(2名棄権)を服部県漁連会長ら6名の審査員が面接などで審査を行いました。個別面接では、応募理由や香川の水産物について知っていること等についての質問をし、その後の一斉面接では自己PRや県魚ハマチの売り込みを実演してもらい、積極性や明朗性、豊かな表現力、熱意を持つ3名が選ばれました。

高島さんは「持ち前の明るさで多くの人と交流したい」福家さんは「幼いころ、魚を知ることで魚のおいしさを感じられた経験を食育に活かしたい」また、教員を目指している杉本さんは「魚離れが進む中、子供たちに魚を食べたいと思ってもらえるように活動したい」と抱負を語ってくれました。

また、同日午後1時から開催された、さぬき海の幸販売促進協議会では、平成27年度事業計画等について協議され、昨年度に引き続いて「さぬき海の幸販売促進事業」に取り組み、ハマチ・ノリ・イリコをはじめ、県内水産物の販売促進、販路拡大を積極的に行うことになりました。また今年、ハマチ県魚指定20周年にあたることを契機として、記念事業を実施する予定です。

かがわ漁業塾開講式



平成27年7月1日(水)、漁連研修センターで「かがわ漁業塾」第1期生の開講式が行われました。県内外から集まった塾生3名に、服部塾長から入塾承諾書が渡されました。

漁業塾は、香川県内水産業への新規就業者の増加を目的に、香川県漁業就業者確保育成センターと(一社)香川県水産振興協会が実施したもので、6ヶ月間の研修期間に漁や養殖などの技術を学んだ後、県内で漁師などとして就業を目指します。

新しい組合長紹介

(敬称略)

坂出市漁業協同組合

新任 網野末博
(平成27年6月28日)

退任 蛭子光久



多度津町漁業協同組合

新任 志摩重美
(平成27年6月20日)

退任 塩野敏雄

